

『Mind Charging』

第 140 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 10 月 29 日

平尾誠二の名言



とにかく相手の話をよく聞くことが重要です。

目の前の人が自分の話を真剣に聞いてくれていると思ったら、
安心して本音が話しやすくなるじゃないですか。

日本代表時代も、指導者としてチームを率いる存在になってからも素晴らしいカリスマ性を端正なルックスでファンのみならず、当時の日本のラグビーの競技者から愛された人物です。日本で開催され、大ブームとなった現在の国内でのラグビー人気を伝えてあげたいです。

きっとこの言葉のようにチームの代表選手として、または指導者となった時に選手の目をしっかりと見ながら話をしたり、聞いたりする人だったのでしょう。団体競技で相手とのハードなコンタクトもあるラグビーという競技の中で、『団結』は何よりも重要なことであり、そのためにはメンタルトレーニングや激しい意見交換も頻繁に行っているはずですが、それでもやはりカテゴリーが上がれば上がるほど選手個々の『自我』も強くなることは容易に想像がつくことであり、『どれだけ諭してもまとまらない・・・』ということもあつたはずですが。そんな時に『いい加減にしる！』と叱るのではなく、『安心させることでまとめよう』という時間も労力も使うであろう選択をするのはかなり勇気が必要だったのではないのでしょうか。

冷静に自ら正しい道を選択するためにはやはり『安心感』が重要だという答えに辿り着くまで、様々なアプローチで試行錯誤を繰り返したことだろうと考えますが、この言葉のような“ごく普通の受け答え”のような口調ということは、もしかしたら最初から直感的に理解していたのかもしれませんが。それもまた彼が『ミスター・ラグビー』と呼ばれる理由であり、私たちも彼から学んで正智深谷で『コミュニケーション』について理解を深め、安心して付き合える仲間を増やしていけるようにしていきたいものですね。

(編集委員：入試広報室 鈴木)

平尾 誠二(ひらお せいじ、1963 年(昭和 38 年)1 月 21 日 - 2016 年(平成 28 年)10 月 20 日)は、日本のラグビー選手。日本代表選手であったほか、日本代表監督、神戸製鋼コベルコスティーラーズ総監督兼任ゼネラルマネージャーなどを歴任し、ミスター・ラグビーと呼ばれた。(Wikipedia 参照)